

報道関係者各位

## MOLTENI&C | DADA 各店リニューアルと新製品発表のご案内

薫風さわやかな季節を迎え、皆様ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびアルフレックスジャパンは、モルテーニ・ダーダ東京、モルテーニ・ダーダ大阪をリニューアルオープンします。それに伴いMolteni&C(モルテーニ)とDada(ダーダ)の最新コレクションを国内発表発売します。

1934年にイタリアで創業したモルテーニは、収納を中心とした最高峰の技術を誇る総合家具ブランドです。2016年よりクリエイティブディレクターを務めるベルギー人建築家ヴィンセント・ヴァン・ドゥイセンによるデザインディレクションで、グループ傘下のキッチンブランド ダーダとともに、置き型家具をはじめ収納からキッチンまでのすべてを、ハイクオリティで提供しています。そのデザインは常に先進性に溢れ、ダイナミックにして精巧と、世界中から高く支持されています。日本では2つの旗艦店〈モルテーニ・ダーダ東京〉〈モルテーニ・ダーダ大阪〉を展開しています。各店それぞれ今春にリニューアルし、光と影のコントラストを意識した表情豊かな素材感溢れる家具・キッチンとが響きあう、モルテーニ・ダーダの世界観を存分にご体感いただけるようになります。

2021年、モルテーニは2名の偉大な建築家に敬意を表したコレクションを発表しました。イタリアの建築とデザインが最もクリエイティブであった時代の一つ(1950年代~70年代)に活躍し、それぞれが独立した言語を持っていたイグナツィオ・ガルデッラとカルロ・スカルパです。二人が作品に残した偉大な教えに敬意を表し現代の生活に合わせて再構築されたシーティング&ストレージシステム「**MARTEEN**(マルテーン)」や、あらゆる空間に思い通りのワードローブを作ることができる「**HECTOR NIGHT**(ヘクトル ナイト)」。ロングセラーの収納システム505は「**505UP**(505アップ)」へと生まれ変わりました。モルテーニのヘリテージコレクションからは、ジオ・ポンティの「**ROUND D.154.5**(ラウンドD.154.5)」や「**D.847.1**」を復刻するなど、計11製品をご紹介します。また、キッチンブランド〈ダーダ〉の新製品「**INTERSECTION**(インターセクション)」 「**RATIO**(ラッツィオ)」、そして〈アルマーニ / ダーダ〉の「**MIDNIGHT**(ミッドナイト)」など5製品も登場します。

是非ともこの機会に貴媒体の編集企画、情報ページへご活用やご掲載を検討いただければ幸いです。

その他、ご不明点、ご要望などございましたら、お気軽に広報・PR 長谷川・高下までお問い合わせください。

2022年5月

株式会社アルフレックスジャパン

【本資料に関するお問い合わせ先】

株式会社アルフレックスジャパン

広報・PR担当:長谷川・高下 <press@arflex.co.jp>

東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー6F

Tel.03-5468-3371 Fax.03-5468-3372 URL : www.arflex.co.jp

## MOLTENI&C | DADA TOKYO リニューアルのご案内

新製品の展示導入にあわせ、このたび東京 南青山の旗艦店 MOLTENI&C | DADA TOKYOをリニューアルしました。自然光と家具やキッチンが燈す光と影により、建築と家具の表情豊かな素材・色の組み合わせが美しく調和し、温かみを感じさせる空間となりました。リビング&ダイニングを提案するMOLTENI&C TOKYO、モルテーニの理想のライフスタイルをご体感いただけるMOLTENI&C HOME、ベッド、ワードローブ、キッチンを配したナイトエリア MOLTENI&C LOUNGE。さらに、キッチン&ダイニングの DADA TOKYOにも新しいキッチンを追加し、新たな設えとなりました。2棟5フロアからなる、トータル約1000㎡のゆったりとしたスペースで、モルテーニ・ダーダの魅力を余すところなくご体感いただけます。また、5月6日には、2017年にオープンしたモルテーニ大阪もモルテーニ・ダーダ大阪としてリニューアルオープンしました。各店で素材感溢れる空間とスタイリッシュな家具・キッチンとが響き合うモルテーニ・ダーダの世界観をご提案します。



MOLTENI&C HOMEには彫刻のように美しい最新キッチンINTERSECTIONを導入。MOLTENI&C LOUNGEには最新のワードローブシステムHECTOR NIGHTを中心に、Molteni&Cのベッド、Dadaのキッチンを合わせた充実のナイトエリアをご提案しています。

### MOLTENI&C | DADA TOKYO モルテーニ・ダーダ東京

東京都港区南青山6-4-6 Almost Blue B棟 1F  
TEL: 03-3400-3322  
営業時間: 11:00~18:00 ※ダーダ東京は予約制  
定休日: 水曜・祝日(土日が祝日の場合は営業)

### MOLTENI&C | DADA OSAKA モルテーニ・ダーダ大阪

大阪府大阪市中央区南船場4-2-11 4F  
TEL: 06-6258-8822  
営業時間: 11:00~18:00  
定休日: 水曜・祝日(土日が祝日の場合は営業)

## HECTOR NIGHT ヘクトル ナイト Design : Vincent Van Duysen / ヴィンセント・ヴァン・ドゥイゼン

2020年に発表された、モダンで洗練された印象のシェルフシステムHECTOR(ヘクトル)シリーズに、ナイトエリアに特化した新しいシステム収納 **HECTOR NIGHT**(ヘクトル ナイト)が登場しました。ディテールの上品さと高級感はそのままに、より様々な実用性と機能性を兼ね備えた多様なパーツを自由に組み合わせることができるようになり、あらゆる空間に思い通りのワードローブを作ることが可能です。HECTOR同様に天井と床を固定することにより、空間を緩やかに仕切ることができます。本体のデザインは細部まで抜かりなく作り込まれ、モルテーニのシステム研究における集大成と言えます。

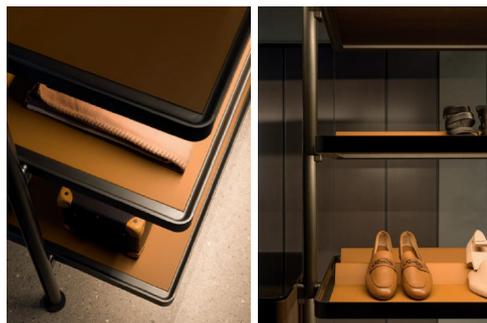


W.4788 D.2414(本体D.538) H.2450 ¥5,865,200

支柱・棚板フレーム/金属2色(ピューター、ブロンズ) 棚板面材/メラミン、ガラス2種(トランスペアレントガラス、スモークガラス)、エコスキン8色(アルティック、タウペ、テッラ、アポリー、ヘンプ、ミンク、ダークブラウン、グレー)ドロー本体/チェスナット2色(ライト、ダーク)ドロー面材/メタル2色(ピューター、ブロンズ)、ガラス2種(トランスペアレントガラス、スモークガラス)



Mirror W.500 H.1400mm ¥280,500~



### ディテールにこだわったアクセサリ

左)シェルフのフレームと同じディテールのミラーは、構造体のポールに自由な高さで取り付けることができ、必要な角度に合わせて回転することが可能。

右上)HECTOR NIGHTの特徴的な丸みを帯びたエッジがあしらわれたドローユニットは、Caveハンドルのさりげない意匠が高級感を際立たせます。Caveハンドルの掘り込み部は、エコスキンで仕上げることができ、しなやかな触り心地を演出します。

右下)棚板のトップやハンガーレールにもエコスキンをセレクト可能。見る角度と用途によってシェルフの仕上げを変える事により、多彩な見え方を演出します。更に、同仕上げでワードローブならではのシューズラックシェルフもご用意。

### エコスキンとは

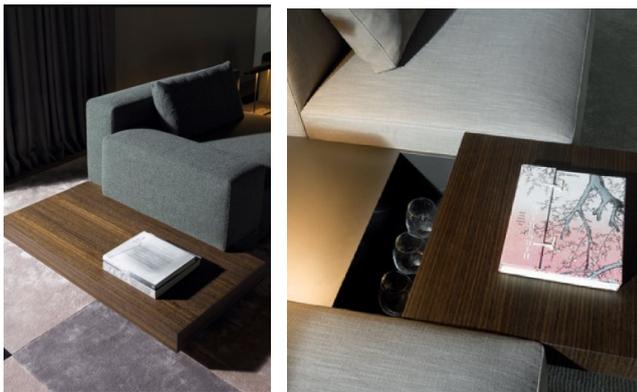
モルテーニが独自に開発した革の風合いをもつ非動物性のサステナブルな素材です。経年変化しにくいので、レザーの風合いを長く楽しむことができます。

## MARTEEN マルテーン Design : Vincent Van Duysen / ヴィンセント・ヴァン・ドゥイセン

**MARTEEN**(マルテーン)は立体のソファと抜け感を演出する収納が交互に配置された、シーティング&ストレージシステムです。ヴィンセント・ヴァン・ドゥイセンは、多様化したリビングでの過ごし方を全て書き起こし、伝統的なデザインをよりカジュアルで現代的に再編集して、どのようなリビングでもセンターピースとなるソファをデザインしました。ソファのアーム部分にはサイドテーブルやドロワーを組み合わせたことが可能。プフのようなシングルシートから、クラシックな2シーター、360度のアイランド型まで、32種類のシートと9種類のテーブルやドロワーを組み合わせたことができ、様々なアレンジメントが可能な今までにない新しいシーティングシステムです。



脚部はスチール製のピューター色仕上げ。存在感を消した8cmの高さの脚部が程よい浮遊感を生み出し、軽やかな印象に。バッククッションはマシュマロのような柔らかさと復元力、耐久性を兼ね備えたSOLOTEX®素材を使用しています。



(左)MARTEENのダイナミックな抜け感を生み出す重要な要素であるスモールテーブル。ドロワー付シートやドロワーアームの下に潜り込ませて構成することも可能。(中、右)シートとシートの上に挟んで使用する可動式テーブル & ドロワー。ユーカリまたはオークから選べる木質の天板を前に引き出せば、サイドテーブルとしてお使いいただくこともできます。



120cm角、150cm角の2種類のドロワー付きテーブルもMARTEENシリーズに抜け感をもたらす重要な存在です。



## MARGOU マルゴウ Design : Vincent Van Duysen / ヴィンセント・ヴァン・ドゥイセン

**MARGOU**(マルゴウ)は、フレームのシャープなラインとシートの滑らかな曲面が織りなすフォルムが美しい木製パーソナルソファです。洗練された美しさと、人間工学に基づいた構造を巧みに融合させ生まれたミニマルなデザインは、リビングに留まらず様々な空間に馴染みます。硬いブナ材を削り出すことで極限まで細く成形したフレームは、卓越した職人の技術により360度どの角度から見ても美しい流線形のフォルムをつくりあげます。シートにはモールドウレタンを採用し、ボリュームのある背面と座面がしっかりと腰元をサポート。現代の住環境に合わせ設計された低めのシートハイとコンパクトなサイズ感がどのようなシチュエーションにも対応します。



### MARGOU (パーソナルソファ)

本体:モールドウレタン

脚部、フレーム:ブナ無垢材2色(ユーカリ、ブラックオーク)

サイズ・価格:

W.800 D.740 H.650 SH.430mm ¥754,600~

## TEA テア Design : Jasper Morrison / ジャスパー・モリソン

花の女王と称される薔薇「テア ローザ(ティーローズ)」が名前の由来となる、軽やかさを追求したエレガントなチェア**TEA**(テア)。輪郭のように縁取られたオーク無垢材のフレームは、構造を支えるだけでなく、チェア全体のシルエットを引き立てます。ロンドン出身のデザイナー ジャスパー・モリソンは、安定性と実用性を重視し、今の時代に合わせた「座る」というコンセプトをこのチェアで再定義しました。わずか6kgの軽量かつコンパクトなサイズ感のチェアでありながら、中央を凹ませた台形状の硬質樹脂をベースとするシート部分など、考え抜かれた構造が十分な沈み込みと柔らかさやフィット感のある快適な掛け心地を実現しました。



### TEA (チェア)

本体:オーク無垢材3色(ユーカリ、ブラック、ナチュラル)

サイズ・価格:

W.460 D.500 H.800 SH.490mm ¥258,500~

#### 木質フレーム仕様

背貫の入ったデザインで、強度があり、軽量ながらもしっかりと安定します。



#### ファブリック/レザー仕様

クッション性を持たせたカバーリング仕様。クッションとフレームのつなぎ目は自然な仕上がりで美しさを損ないません。



## DEVON デヴォン Design : Rodolfo Dordoni / ロドルフォ・ドルドーニ

イギリス南西部の地名が由来のDEVON(デヴォン)のアームチェアに新型が追加されました。厳選された素材、巧みな職人技によるディテール、人間工学を取り入れた快適性の追求など、あらゆる要素においてモルテーニの技術を惜しみなくつぎこんだチェアです。アームチェア、アームレスチェアの背もたれのデザインは2種類からお選びいただけます。ダイニングからキッチンカウンター、更にはデスクチェアとしてなど、幅広いシーンでお使いいただけます。



### DEVON (チェア)

脚部:アッシュ材5色  
(ユーカリ、グレイオーク、グラファイトオーク、ブラックオーク、ウオールナット)

サイズ:価格:

**NEW** アームチェア W.610 D.590 H.760 SH.470mm ¥355,300~  
(背もたれ穴あきタイプ) ¥371,800~

アームレスチェア W.550 D.610 H.830 SH.470mm ¥308,000~  
(背もたれ穴あきタイプ) ¥343,200~

パケットアームチェア W.610 D.590 H.760 SH.470mm ¥348,700~  
(背もたれ穴あきタイプ) ¥368,500~

オットマン W.440 D.440 H.450mm ¥228,800~

スツール(背もたれなし)W.440 D.440 H.690mm ¥291,500~

スツール(背もたれあり)W.530 D.490 H.840 SH.690mm ¥357,500~



**NEW**

## DEDALO デダロ Design : Marta Ferri / マルタ・フェッリ

イタリア人クチュリエ マルタ・フェッリ デザインのファブリックコレクション「マルタ・フェッリ コレクション」から新しいラグ**DEDALO**(デダロ)が発表されました。創業80年以上の歴史を持ち、ファブリック業界を牽引しつづけるフランスの老舗メゾンPierre Frey(ピエール・フレイ)との初のコラボレーション。ダイナミックな幾何学模様と洗練された色彩は、1963年にカルロ・スカルパがデザインしたベネツィアのクエリーニ・スタンパリア美術館のタイル装飾からインスピレーションを受けたものです。柔らかな肌触りのウールに、強度と弾性に優れたテンセルを組み合わせ、使いやすさと耐久性、デザインの美しさを全て兼ね備えています。



オレンジスパーク



ソフトグレー

### DEDALO (ラグ)

組成:ウール 30% テンセル 70%  
厚み:15mm

2色展開:オレンジスパーク、ソフトグレー

サイズ:価格:

W.3000 D.3000mm ¥1,734,700  
W.4000 D.2000mm ¥1,552,100  
W.4000 D.3000mm ¥2,280,300  
W.5000 D.3000mm ¥2,824,800

## ROUND D.154.5 ラウンドD.154.5 Design : Gio Ponti / ジョー・ポンティ

1954年にジョー・ポンティによってデザインされたパーソナルソファ**ROUND D.154.5**(ラウンドD.154.5)がモルテーニの「ヘリテージコレクション」  
として復刻されました。成形合板やプラスチックパーツのついた脚部など、当時としては前衛的な素材を多用し、生産効率や輸送効率を  
考慮しデザインされ、インダストリアルデザインの先駆けとして注目を集め、アリアリア航空のターミナルやオフィスでも使用されたジョー・ポンティ  
の代表作です。シートと背もたれの丸い形状から「ソープバー」とも呼ばれるユニークな形状は、「背もたれ」「座面」「2本の成型合板」  
「4本の脚部」の8つのパーツに簡単に分解が可能です。



### Round D.154.5 (パーソナルソファ)

脚部：仕上げ2種(ブラッククローム、真鍮艶消し)

カバー：シートとシートバックの本体と側面の生地は張り分けが可能。

サイズ・価格：

W.610 D.720 H.800 SH.410mm ¥727,100～



## D.847.1 D.847.1 Design : Gio Ponti / ジョー・ポンティ

1947年にジョー・ポンティによってデザインされたライティングデスク**D.847.1**も、70年以上の歳月を経て「ヘリテージコレクション」  
として復刻されました。戦時中、グライダーなどの製造を行っていた企業から依頼を受けデザインされ、飛行機の翼を想起させる縁がカーブしたトップと、  
その下の丸みを帯びた小さなドロワーが特長的なデスクです。このたび設計図面や当時の写真を徹底的に研究し、細部まで忠実に再現。  
流線形のモダンで軽やかな意匠は、その後のジョー・ポンティの家具デザインに共通しており、その先駆けとなった作品といえます。



### D.847.1 (テーブル)

本体：アッシュ材ステイン仕上げ

脚先：真鍮つや消し仕上げ

サイズ・価格：

W.1340 D.400 H.785mm ¥975,700～

## HERITAGE COLLECTION ヘリテージコレクション

イタリアデザインの長い歴史にある過去の名作を未来につなげるための「ヘリテージコレクション」。中でも  
2012年から、イタリア建築・デザインの父と称されるジョー・ポンティがデザインした家具コレクションの(一部を  
除く)製造権を取得し、後世に残すべき名作の製品化に力を入れています。多岐にわたるジョー・ポンティの  
作品の中でも、1935年～1950年代後半にかけてデザインされた「個人住宅向け家具」または「限定的な  
シリーズ家具」に焦点が当てられ、原作の緻密な調査・分析に基づいて復刻されています。



GIO PONTI

## 505UP (System) 505アップ(システム) Design : Nicola Gallizia / ニコラ・ガリツィア

1975年発表以来16回のバージョンアップを繰り返しながら時代とともに生活の変化に対応してきたモルテーニのロングセラー収納システム505は、イタリア建築の最盛期を支えた2名の偉大な建築家 イグナツィオ・ガルデルツァとカルロ・スカルパの建築からインスピレーションを受け、**505UP**(505アップ)に進化しました。イタリア建築の内装に多用されるグレー・ベージュを基調とした4つの新色バックパネルにより、全体がすっきりと壁に溶け込みます。また、背面を柔らかく照らし水平ラインを描くLED照明は、収納そのものを空間の基本照明としても機能させます。ニコラ・ガリツィアが編み出した、ラインとモジュールの間隔が最も美しく見える16mmの倍数のパネルスパンと建築物のショーウィンドウのようなディスプレイボックスにより、機能的にも意匠的にも建築物と見事に調和する収納に生まれ変わりました。現代では、住空間は多種多様な過ごし方や機能が求められるようになり、そのニーズに合わせてこれからは505UPとして進化し続けます。



W.5792 D.537 H.2001 ¥5,394,400



(左)フロント面に丸みを帯びたラウンドパーテーションが追加されました。パーテーションとバックパネルとの間に30mmの隙間を設けたことで、LED照明のラインを遮ることなく水平ラインを強調することが可能。背板にあたる柔らかい光は、空間に優しい表情を作り出します。

(中)ディスプレイボックスは本体から10cm前が出るデザインにより、メリハリが生まれ、まるで建築物の“窓”のような印象を与えます。オープン、ヒンジドア、フラップドア、ドロワー、パーティカルスライドドアの5種のボックスからお選びいただけます。写真はオープンタイプ。

(右)ディスプレイボックスのパーティカルスライドタイプ。

## 505UP (Sideboard) 505アップ(サイドボード) Design : Nicola Gallizia / ニコラ・ガリツィア

505UP Sideboard(505UPサイドボード)は、505UPのシステムを踏襲したシステムキャビネットです。シングルユニットで構成するテレビ台やサイドボード、飾り棚など、様々な空間で用いる事が出来るシステムキャビネットです。脚部は高さ19cmのメタル脚タイプと巾木タイプからお選びいただけます。



W.1920 D.526 H.779 ¥1,391,500



W.1280 D.537 H.1355 ¥1,575,200



【メタル脚タイプ】脚部 H.190mm

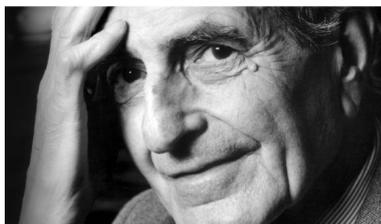


【巾木タイプ】

### Ignazio Gardella and Carlo Scarpa イグナツィオ・ガルデッラ と カルロ・スカルパ

このたび発表の最新コレクションでモルテーニがインスピレーションを受けた2名の同世代の建築家ガルデッラとスカルパは、それぞれ1950年代～1970年代を中心に公共建築や民間建築、展覧会、美術館の設計まで共通の課題に取り組みました。二人のプロジェクトはどれも常に細部まで配慮され、建築の規模から素材、家具まで全てのデザインにこだわり、それぞれのパーツが互いに影響しあい、首尾一貫すべきだという彼らの言語が表現されています。ガルデッラは空間に厳しく向き合い、そこにオレンジやバーガンディレッドなど対照的な鮮やかな色を組み合わせることで、柔らかい雰囲気を生み出しています。スカルパはよりディテールにこだわり、幾何学的な表現を得意としました。晩年日本で暮らしていたスカルパの作品では、日本のデザインや住居を想起させる八角形が多用されています。素材の重ね方や空間の作り方、こだわり抜かれたディテール、様々なテクスチャーのコントラストなど、彫刻作品のような綿密な建築が特長です。

505UPをデザインする際、ニコラ・ガリツィアも同様に、彼らからインスパイアされた概念を取り入れました。イグナツィオ・ガルデッラとカルロ・スカルパの建築では、建築と家具が同じ尺度で考えられていて、建築と家具が調和したデザインであることが2人の共通の思想です。スカルパの建築では、家具は建築の壁のように空間に溶け込む存在、建築を引き立てる脇役とされました。そこでガリツィアはスカルパの姿勢から同じ方法でモルテーニの収納や家具の目的を再定義しました。一方ガルデッラの建築では、家具が空間の絶対的中心、つまり主役として存在しています。ガルデッラの生み出す空間には丸みのあるシルエットが多く、同色系でまとめられていました。また木材や淡い色を好んで使用していて、ガリツィアはここにガルデッラのミラノ人らしさを感じました。



イグナツィオ・ガルデッラ



カルロ・スカルパ

## PASS-WORD EVOLUTION パスワード エボリューション Design : Dante Bonuccelli / ダンテ・ボヌッチェッリ

ダンテ・ボヌッチェッリ デザインのシステム収納 **PASS-WORD EVOLUTION**(パスワード エボリューション)に、より意匠性を高めたパーツと新たなLED照明システムが追加されました。新しく追加されたガラス仕上げのトップと扉は、より演出性を高めたレイアウトと高級感のあるディスプレイを可能にし、中の見えないパネル仕様と、ディスプレイ性を高めたガラス仕上げを組み合わせることで生まれるコントラストが、空間に奥行きを感じさせます。壁面を柔らかかに照らすLED照明は置き型タイプと吊り型タイプの2種類からお選びいただけます。その他、背板をなくし美しく進化したウイングシェルフやバックパネルにミラーも選べるガラスキャビネット、トランスペアレントストップソルガラスのフラップドアとヒンジドアもご用意し、壁面を多彩に演出する収納として一層進化しています。



置き型ユニット: W.5660 D.508 H.510 ¥2,864,400 壁掛けユニット: W.1900 D.278 H.380 ¥1,718,200



### 新ウイングシェルフ

上下にLED照明を取り付け可能なシングルシェルフが追加されました。既存ウイングシェルフと同様に幅95~277cmまで自由に壁面をレイアウトすることが可能です。背板をなくし、棚板を極限まで薄くしたデザインは演出性をさらに高め、シェルフとしての存在感を消しつつ、光の上にディスプレイされたものが浮遊しているような印象を与えます。



### 水平ガラスキャビネット

フロントとサイドがガラス仕上げで横長タイプのキャビネットが追加されました。トップとベースのシェルフとバックパネルはメタルラッカー塗装仕上げで、背面にミラーをお選びいただくこともできます。特許を取得した開閉機能を取り入れ、余計な機構を一切見せず、さらにLED照明と合わせることで飾るものを一層美しく見せることができます。

## INTERSECTION インターセクション Design : Vincent Van Duysen / ヴィンセント・ヴァン・ドゥイゼン

ヴィンセント・ヴァン・ドゥイゼン デザインの最新キッチン **INTERSECTION**(インターセクション)は、素材加工におけるモルテーニ・ダーダの卓越性を際立たせる洗練されたディテールと、高い表現力を兼ね備えた力強く表情豊かなキッチンです。あらゆるキッチン空間を構成できるシステムであるとともに、独自の素材とディテールが光と影の相互作用を生み出す彫刻のようなキッチンを作り出します。天板の下に隙間を設けることで、ハンドルを必要とせず、ドアや引き出しを開くことができます。建築的で幾何学的とも言えるドアの表面に施された細かい突板を手作業により貼り合わせた<インレイワーク>が、豊かな表情を作り出します。



ワークトップ:天然石 プレッチアカプライア 扉:ブラックオーク 幅木:ピューター スナックテーブル:サーモオーク



彫刻的なディテールの天板下。天板の下に隙間を設け、ハンドルを必要とせずにドアや引き出しを開くことができます。また、扉やスナックテーブルの表面は手作業で幾何学的に貼り込まれた突板の光と影のパターンが交差するようにデザインされています。

## RATIO ラッツィオ Design : Vincent Van Duysen / ヴィンセント・ヴァン・ドゥイセン

2019年にヴィンセント・ヴァン・ドゥイセンによってデザインされた**RATIO**(ラッツィオ)は、モジュール性、機能性、対応性を更に高め、厳選された素材や仕上げを加えながら2020年に正式発表され、最高峰の技術が生み出すダーダブランドの最新の進化を表現しています。構造は、16mmのアルミ製グリッドを基調として、各ユニットや様々なアクセサリーを建築のように繋ぎ合わせています。また、厚みの異なる天板と、アルミ材を内蔵し13mmという極限薄さで構成したドア材が、エレガントなバランスの取れた相互作用を生み出し、厳選された素材を際立たせます。



ワークトップ:天然石 ラポラーノトラパーチン 扉:ユーカリ グリッド:ブロンズ スナックテーブル:ブラックオーク



左)アルミ製グリッドの細いラインががボリュームの異なる異素材の組み合わせを美しく際立たせています 右)スナックテーブルは11種の木質仕上げをご用意。アイランドキッチンに垂直または平行に配置可能です。

下)ワークトップ:天然石 プレッチアカプライア 扉:サーモオーク グリッド:ピューター  
左) RATIOに扉機構SYSTEMA7を組み合わせれば、大空間の中にウォークインクローゼットのようなキッチンを作ることができます。 右)スラット入り扉と内部照明を備えた新しいフロアベース。



## SYSTEMA XY システム エックスワイ Design : Francesco Meda / フランチェスコ・メダ

フランチェスコ・メダデザインの、デカルト座標(XY軸)からインスピレーションを受けたモジュールキッチンシステム。キッチンでは、様々なツールが必要な時に瞬時に使いやすい位置にあるべきで、そのためには、必要なものを決められた場所に置いておくことが重要です。システムXYは、壁面、アイランド両タイプのダーダの既存のキッチンと合わせて使うことができるフレキシブルなユニットです。X・Y軸を導線に、様々なアクセサリを組み合わせることで、集いやすく、より機能的なキッチンを実現します。基本の軸は中央のアクセサライズドチャンネルにあり、ここにはナイフホルダー、まな板、スパイスジャー、ソルト&ペッパーミル、コンセント、換気線、食器ラックなどをまとめておくことができます。さらに、スライド式のスナックテーブルを組み込むことも可能です。



アクセサリートップ: フェニックス インゴブラック ストラクチャー: ピューター 棚板: ユーカリ テーブル: ユーカリ



左、中) 中央のアクセサライズドチャンネルには、垂直方向にアルミ製のシェルフを取り付けることができます。シェルフの仕上げは、視覚的に温かみを感じる木質、あるいはインダストリアルな印象のステンレススチールの仕上げから選ぶことが可能です。また、棚板の下側にはLED照明をつけることができます。

右上下) 中央のアクセサライズドチャンネルに設けられるコレクショントレー。

右上) 棚板の下につけたLED照明によって照らされたボトルホルダーとスパイスホルダー。右下) まな板差しと包丁差し。

## INDADA インダーダ Design : Nicola Gallizia / ニコラ・ガリツツィア

ニコラ・ガリツツィアによってデザインされたINDADA(インダーダ)。シンプルに削ぎ落したデザインと機能的な要素がマッチした2010年発表以来好評のキッチンです。INDADAのコンセプトは”The richness of simplicity”(シンプルであることの豊かさ)です。引き算の発想で、機能的な要素を明確にし、最適なエレメントを導き出しました。そして、モルテーニの家具と調和する新しい素材や仕上げを組み合わせることでモダンで、より洗練されたものへと生まれ変わりました。形・素材・色や新しいディテールの無限の組み合わせをカスタムすることにより、ユニークで自分らしいスタイルを表現することができます。



ワークトップ:ラミネート アントラチャーテプaster 扉:ピラミネート ココアオーク ハンドル:ピューター ウォールユニット:ピラミネート アントラチャーテプaster



INDADAは、モジュールという観点からは非常に明快なキッチンです。整ったボリューム感や、正確にリサーチされた素材、ソリューション、そして機能的なエレメントから成り立っています。ソリッドで本質的でありながら個性的で洗練された要素を持っています。

—ニコラ・ガリツツィア

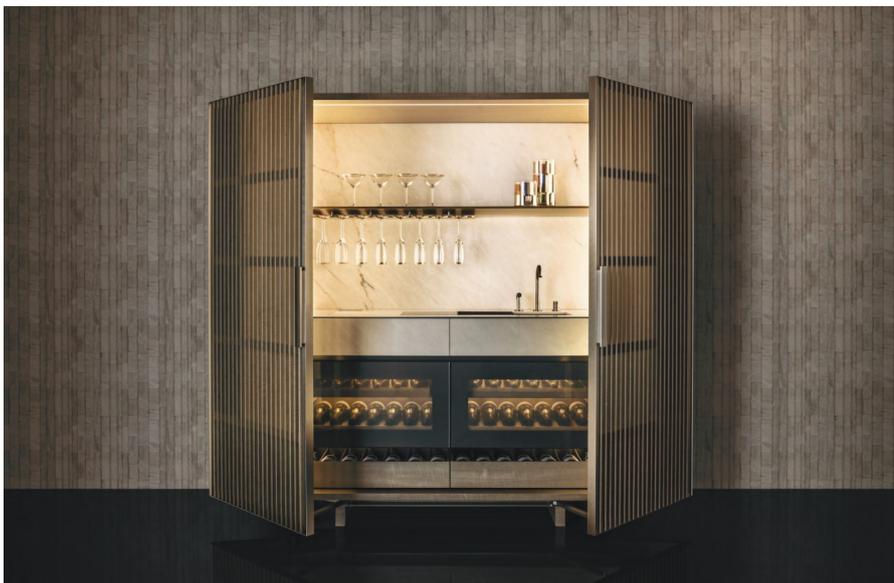
## MIDNIGHT ミッドナイト Design : Giorgio Armani / ジョルジオ・アルマーニ

2008年に アルマーニ / カーザ とのパートナーシップにより誕生した、ジョルジオ・アルマーニ デザインのキッチンブランド、アルマーニ / ダーダ。ジョルジオ・アルマーニの美学において、誰もが持つ、現代的で新しい感覚と異国文化の憧れを表現するには、繊細な構造、絶妙な仕上げ、無重力感、これらは希少性も生み出しながら決して欠かすことは出来ない要素です。 **MIDNIGHT**(ミッドナイト) は、モルテーニ・ダーダの最新の技術を取り入れながら、これらの要素を完全に包括した最新のカクテル&ワインバーキッチンです。



日本の伝統建築よりインスピレーションを受けたアルミ製ブロンズ仕上げの扉は、アフリカ原産のアニエグレウツの縦型スラッドとシャンパン色の組み合わせが特徴です。国際特許を取得した特殊な機構によりシンプルで自然な動きを実現し、開いた扉は追加のスペースを必要とせず、本体横に格納されます。

サイズ・価格 / W.1634(1790) D.794(872) H.2010 ¥13,007,500 ※アプライアンス一式を含む



深さのあるドローには、カスタマイズ可能な3種類の収納コンパートメントをご用意。ドロー仕様、ガラス仕様、そしてワインセラーを格納する事ができます。LED照明が組み込まれたアニエグレウツの天板とワイングラスホルダーを備えたアルミ製ブロンズ仕上げの棚が、背面の大理石を美しく演出します。本体下部に設けられたオープン型ドローには、様々なボトルサイズに対応できる、マグネット型アクセサリを装着する事が可能です。